

＜挿入形タービン流量計 挿入管分解マニュアル＞

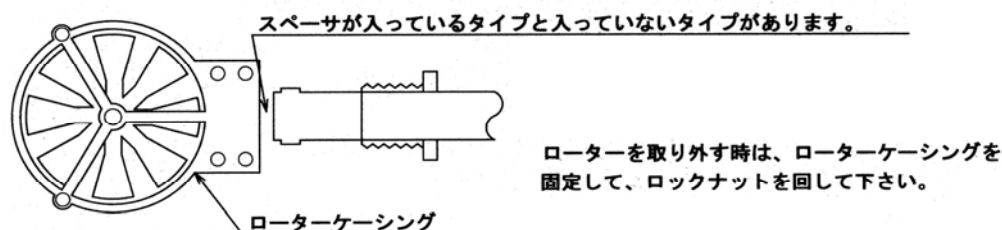
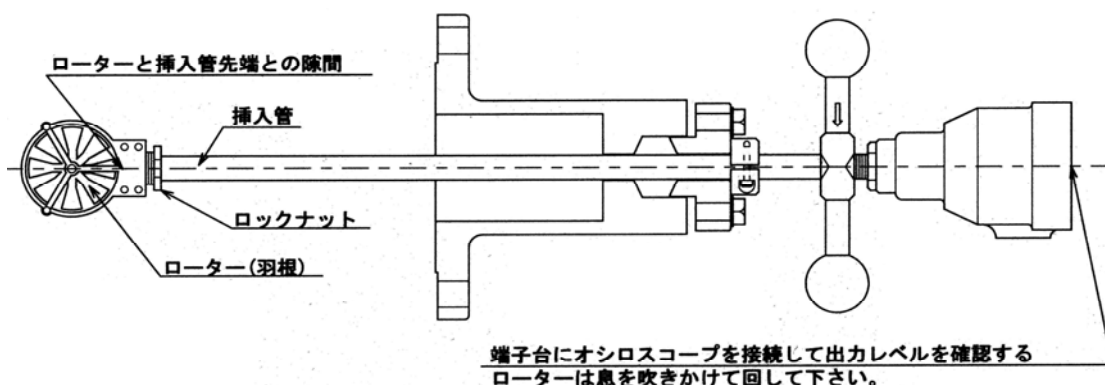
〔リトラクターのないタイプ〕

準備工具 モンキーレンチ×2(250ミリ程度)・プラスドライバー・六角レンチセット(5ミリ以下)・
ペンチ・ウエス・潤滑スプレー・メジャー・ペイントマーカー・ノギス

1. 挿入形タービン流量計を分解する前に下記の項目を確認して下さい。

分解前の確認項目

ローターと挿入管の隙間	mm
スペーサーの有無	枚数, 厚み
信号出力レベル	mV at Hz(基準値 最大周波数の 10%時、25mV ^{P-P} 以上)



2. ローターケーシングを挿入管から取り外す作業を行います。

分解前の点検項目を実施した後、ローターケーシングを取り外して下さい。

上図の要領でローターケーシングをスパナ(モンキーレンチでもOK)で固定してから、ロックナットを回してローターケーシングを取り外して下さい。

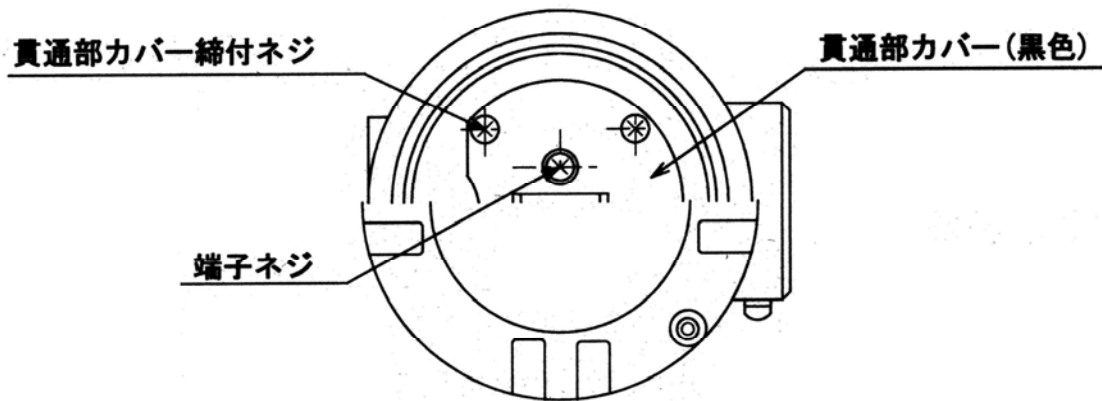
注) スペーサーが脱落するおそれがあるので、グレーチングあるいは高所での作業は避けて下さい。

注) ローターケーシングの向き(上流・下流)とハンドル方向はメモ等に控えて下さい。

取り外したローターケーシングは大切に保管して下さい。

場合によっては、洗浄あるいはベアリング交換を実施して下さい。

3. 防爆BOXを挿入管から取り外す作業を行います。



貫通部カバー締付けネジ(4本)を緩めて取って下さい。

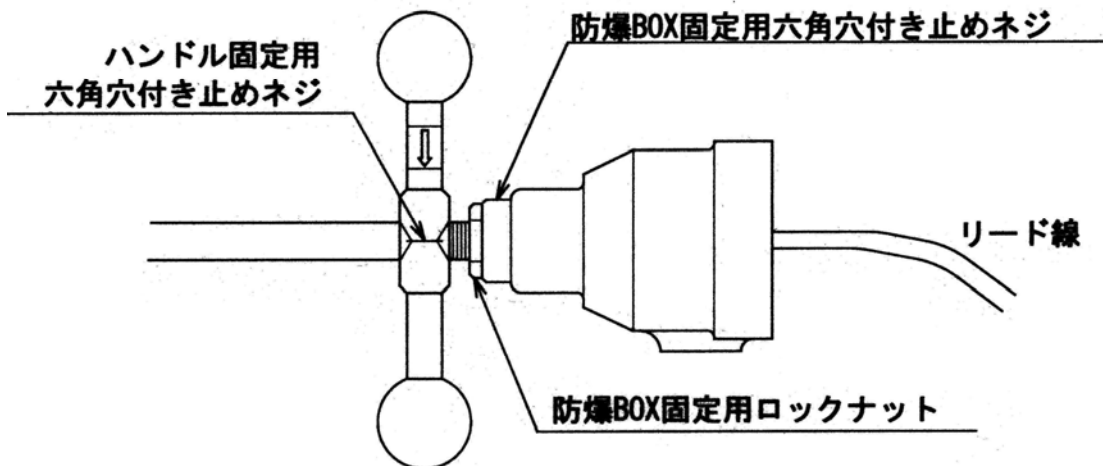
貫通部カバー(黒色)を防爆BOXより、ゆっくり引きぬいて下さい。

注) 貫通部カバー(黒色)とピックアップからのリード線がつながっているので注意して引きぬいて下さい。

※年式が古いと、防爆BOXから貫通部カバー(黒色)が外れない場合があります。

その時は、潤滑剤や、ペンチ、治具等の工具を使って引き抜いて下さい。

貫通部カバー(黒色)と防爆BOXの縁が切れたら、端子ネジ(リード線側)を緩めてリード線と貫通部カバー(黒色)の縁を切って下さい。



次に、防爆BOX固定用六角穴付き止めネジを緩めて、外して下さい。

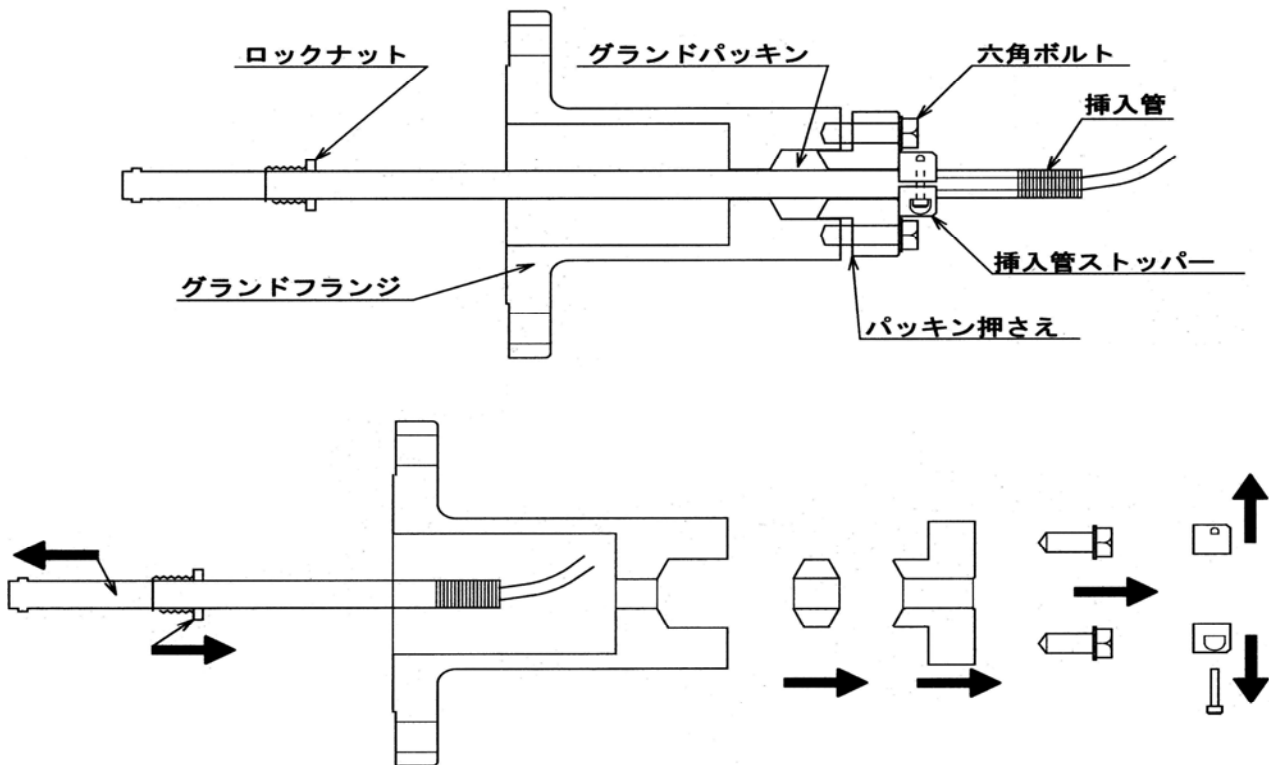
リード線が切れない様に注意しながら防爆BOXを回し外して下さい。(純ネジ)

次に、ロックナットを回し外して下さい。

同様に、ハンドル固定用六角穴付き止めネジを緩めて、外して下さい。

リード線が切れない様に注意しながらハンドルを回し外して下さい。(純ネジ)

4. 挿入管を本体フランジから取り外す作業を行います。

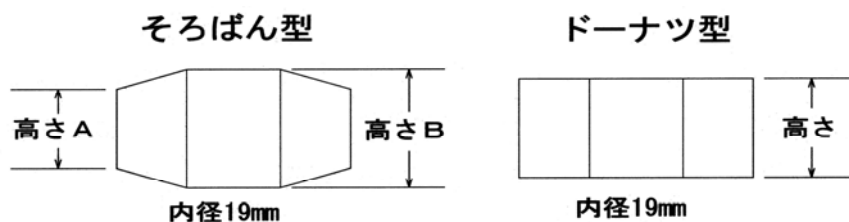


挿入管ストッパーを固定している六角穴付き止めネジを緩めて取り外して下さい。

注) 挿入管ストッパーの取り付け位置は必ずマーキングして下さい。

六角ボルト緩めて、パッキン押さえ、グランドパッキンの順に取り外して下さい。
挿入管を矢印方向に引き抜いて、ロックナットを取り外して下さい。

5. グランドパッキンについて



上図の様に、そろばん型とドーナツ型があります。
弊社で新品を準備しますので、寸法を確認して下さい。

そろばん型	高さA mm , 高さB mm
ドーナツ型	高さ mm